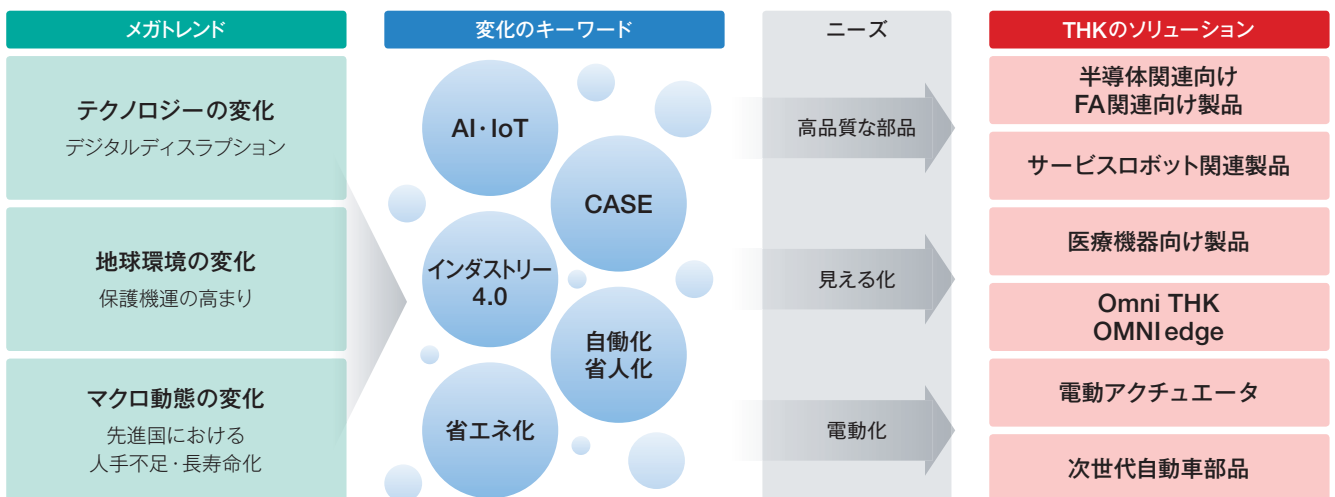


中長期的な成長に向けた取り組み

デジタルテクノロジーの急速な進化、地球環境保護機運の高まり、そして先進国における人手不足や長寿命化などのマクロ動態の変化がメガトレンドを形成する中、「AI、IoT」の進展の波が「CASE」というキーワードをもたらし、それは自動車業界にとどまらず、あらゆるモノづくり産業に影響していくものと考えられます。特にそれらを強く推し進めているのが、「インダストリー4.0」だと考えられ、モノづくりやサービス産業などのあらゆる分野で「自動化・省人化・省エネ化」も大きく進展していくでしょう。そして、これらの変化のキーワードから、THKの様々なソリューションが求められており、その成長ポテンシャルを顕在化すべく産業機器及び輸送機器の両事業において各種取り組みを進めています。

中長期的なマーケットの拡大

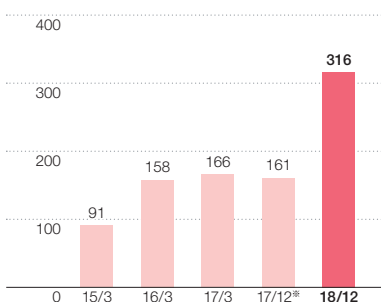


産業機器事業 グローバル生産体制の拡充

産業機器事業では、中長期的なトップライン拡大を支えるべく、グローバルで生産体制の強化を進めています。2018年11月にはTHK MANUFACTURING OF VIETNAM (ベトナム)、2019年3月には山形工場と、それぞれの敷地内で増築新工場が完成し稼働を開始しました。2019年1月には、THK India (インド)

における新工場が2020年1月の稼働に向けて着工しました。今後も時代の潮流に伴う変化のキーワードから、中長期的な拡大が見込まれる需要を着実に取り込むべく、引き続き生産体制の強化を図っていきます。

設備投資額の推移 (億円)



※3月期決算の連結対象会社は9カ月間、12月期決算の連結対象会社は12カ月間の変則決算となっています。



産業機器事業 市場拡大に向けた新たな取り組み ~ OMNIedge 始動 ~

製造業では、高齢化などにより離職が進み、労働力不足の深刻化が懸念されています。その一方で自動設備を含めた製造装置の保守・予兆検知は、熟練作業者の手作業に依存しているというのが現状です。このような製造業における課題を解決すべ

く、THKのLMガイドをはじめとする直動部品の状態を可視化するセンシング技術に加え、NTTドコモ・シスコシステムズとの連携により、設備の予兆検知の新サービス「OMNIedge」の商用化に向けた準備を開始しました。

OMNIedgeとは

後付け可能なTHKのセンサーをLMガイドをはじめとする機械要素部品に取り付けることにより、それらの損傷・潤滑状態を可視化し分析結果をお客様に返すプラットフォームです。予兆検知サービスの提供によりお客様の生産性向上と全体コストの低減に貢献することに加え、当社製品の信頼性が可視化されることにより新興メーカーに対する優位性が高まることにもつながります。さらに、他の機械要素部品メーカーの参画に加え、大手機械装置メーカーが展開しているIoT基盤のサービスへの接続により様々な環境や用途からビッグデータを構築することも可能です。これにより予兆検知サービスの向上は勿論、さらなるソリューションに展開することができます。

「THK SENSING SYSTEM」イメージ図

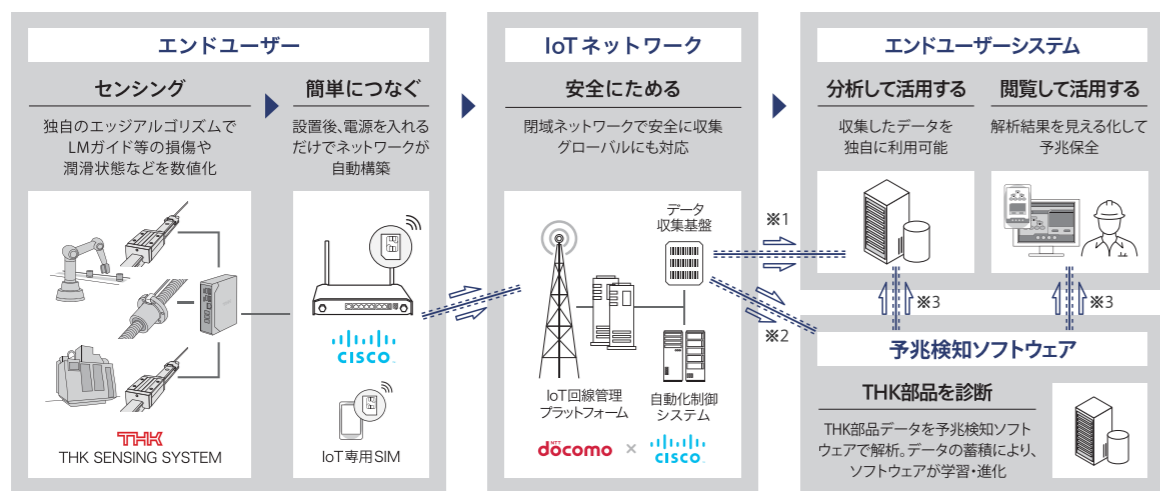
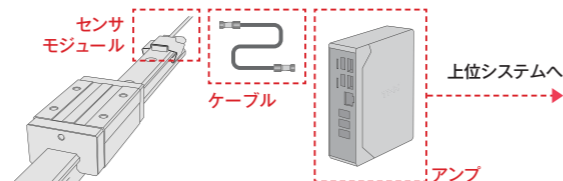
〈コンセプト〉

・LMガイドの状態を定量化する

〈特長〉

・LMガイドの状態(損傷・潤滑)を数値化できる
・既存設備に後付けすることができる

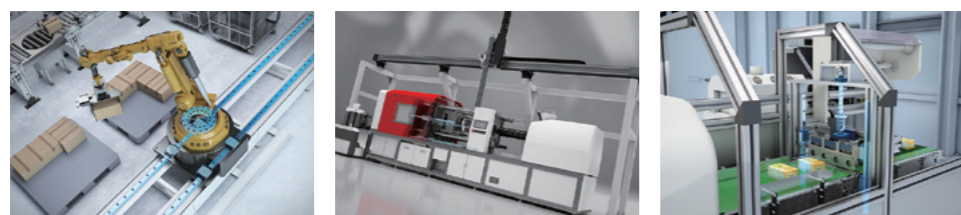
〈基本構成〉



各国ごとにローミングや現地SIM、eSIMなど最適な回線選定が可能です。

※1: THK部品データとお客様データを収集
※2: THK部品データのみ収集 ※3: THK部品解析データを提供

今後の広がり



※その他多くの一般産業向け装置への展開を予定しています。

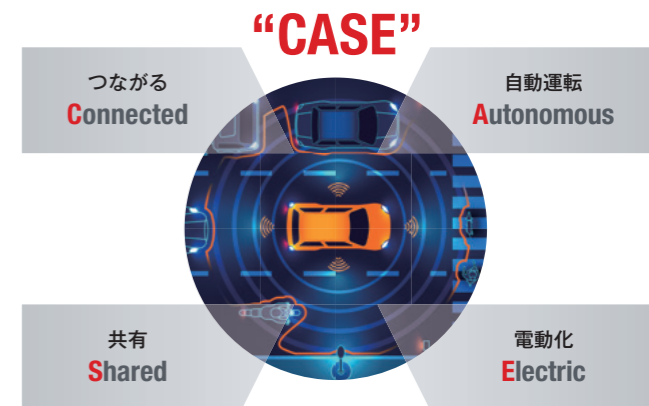
輸送機器事業 次世代の自動車産業の担い手として

輸送機器事業では、THK創業時からの主力製品であるリンクボールを中心に事業を展開する中、2007年にはリズム社(現THKリズム)を買収しました。2015年には米国の旧TRW Automotive Inc.よりL&S(リンケージ アンド サスペンション)事業を譲り受け、THK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA)としてグループ化しました。輸送機器事業ではこうして得たグローバルな事業基盤を活かし、独立系グローバルサプライヤーとして自動車産業に貢献しています。

L&S事業の拡大と自動車向け新製品の拡充

現在、100年に一度の変革の時代を迎えている自動車産業では、「CASE」が次世代の姿を示すキーワードと言われています。CASEとはConnected(つながる)、Autonomous(自動運転)、Shared(共有)、Electric(電動化)の単語の頭文字をつなげたものであり、これらの要素が連動して革新的な技術やサービスが生まれ、異業種を交えた大きな変化の波が起きようとしています。

そのような中、既存のL&S事業では、THKリズム及びTRAを中核として新規取引の拡大に向けて販売活動を積極化すると同



時に、獲得した大型の新規案件に向けた増産投資を世界各地で実施しています。一方、自動車向けの新製品においては、次世代のL&Sシステムのほか、ステアリングやブレーキ、サスペンションなど様々な機構における直動製品の採用拡大に向けた取り組みを進めています。今後もCASEを追い風に直動製品の需要の拡大が見込まれる中、これらの採用拡大に向けた開発・販売活動をさらに加速していきます。

輸送機器事業における取り組み

- 主な取り組み**
- L&S事業拡大への取り組み**
THKリズムとTRA相互の販売力・生産力を活かした受注活動の展開強化
- 自動車向け新製品開発への取り組み**
"CASE"を追い風に自動車向け新製品の開発を加速
- 大型案件に向けた増産投資**

